

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	母子寡婦福祉貸付金	担当部局庁	雇用均等・児童家庭局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和28年度	担当課室	家庭福祉課母子家庭等自立支援室	高橋 俊之				
会計区分	一般会計	施策名	Ⅲ-1-6 ひとり親家庭の自立を支援する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	母子及び寡婦福祉法第13条、第32条及び第37条	関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子家庭及び寡婦の生活の安定と向上のための措置に関する基本的な方針(平成20年4月1日厚生労働省告示第248号)</li> <li>子ども・子育てビジョン(平成22年1月29日閣議決定)</li> <li>東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定)</li> </ul>					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	母子家庭及び寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてこれらの児童等の福祉を増進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	都道府県・指定都市・中核市が母子家庭及び寡婦に対し、生活に必要な資金やその子の修学に必要な資金等について貸付けを行うため、母子及び寡婦福祉法の規定により、都道府県・指定都市・中核市が行う資金の貸付けに必要な原資を国が貸し付けるものである。 ・貸付先: 都道府県・指定都市・中核市 ・貸付率: 2/3							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	5,040	5,040	5,040	5,160	6,372	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	5,040	5,040	5,040	5,160	6,372	
		執行額	3,650	4,377	5,037			
	執行率(%)	72.4%	86.8%	99.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)	
	貸付件数等と母子家庭等の自立や児童等の福祉の増進の状況は数値的に関連づけることは不可能であるため、定量的な成果目標として示すことはできない	成果実績			-	-	-	-
		達成度	%		-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	母子寡婦福祉貸付金の貸付件数	活動実績(当初見込み)	件	49,025	51,170	51,106	-	
						( - )	( - )	
単位当たりコスト	- (円/ )		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	母子寡婦福祉貸付金	5,160	6,372	実績を勘案した貸付金額の増に伴う増				
	計	5,160	6,372					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	-
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>母子及び寡婦福祉法施行令(昭和39年政令第224号)第24条(第38条において準用される場合を含む。)及び母子及び寡婦福祉法施行規則(昭和39年厚生省令第32号)第1条第1項(第9条第1項において準用される場合を含む。)の規定に基づく母子寡婦福祉貸付金及び寡婦福祉資金貸付金に係る貸付業務の報告並びに同規則第11条の規定に基づく福祉資金貸付金に係る特別会計歳入歳出決算書の写しを厚生労働大臣に提出することとされており、これらの提出書類と必要に応じて行う内容の聞き取りや参考となる資料の提出により、支出状況等について確認を行っており、各点検項目による評価も妥当と考えられる。</p> <p>また、母子家庭等については、経済的な基盤が弱いことが多く、そのような母子家庭等の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてこれらの児童等の福祉を増進するために本事業は必要である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

厚生労働省

5,037百万円

〔 貸付申請書の内容審査、貸付決定等 〕



A 都道府県・指定都市・中核市  
(50都道府県・指定都市・中核市)  
5,037百万円

〔 母子福祉資金、寡婦福祉資金の貸付け 〕

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロッ  
 クごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.東京都			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
母子福祉資金	母子福祉資金の貸付け	1,214			
計		1,214	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
母子福祉資金	母子福祉資金の貸付け	1,214			
計		1,214	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	母子福祉資金の貸付	1,214		
2	名古屋市	母子寡婦福祉資金の貸付	579		
3	大阪府	母子寡婦福祉資金の貸付	388		
4	堺市	母子寡婦福祉資金の貸付	276		
5	北海道	母子寡婦福祉資金の貸付	256		
6	静岡県	母子寡婦福祉資金の貸付	198		
7	静岡市	母子寡婦福祉資金の貸付	152		
8	新潟市	母子寡婦福祉資金の貸付	137		
9	広島市	母子寡婦福祉資金の貸付	137		
10	島根県	母子寡婦福祉資金の貸付	123		